

《進路情報：中学校卒業後の進路》 ※前号のつづき

みなさん、元気に過ごしていますか？ 3月から始まった臨時休校も、もう2ヶ月以上が過ぎました。これだけ休校が続くと、「することがなくなった」とか「何をしたいかわからない」という人もいるかもしれません。普段なかなか時間がとれない人も多いと思うので、この機会に“自分の将来”についてじっくりと考えてみるのはいかがでしょうか。そのための情報を、この進路通信を通じてみなさんに提供していきたいと思っています。今回は、前回に引き続き“卒業後の進路”について考えたいと思います。「進学」と「就職」について、また進学先としてどのような学校があるのか、そのことを少し詳しく紹介したいと思います。

進学

『進学』とは、中学校を卒業後に別の学校へ進み、学習・実習などを行うことです。みなさんは『中学校→高等学校へ進学』というイメージが強いと思いますが、中学校卒業後に進学できるのは高等学校だけではありません。他にも「高等専門学校」や「高等専修学校」・「専門学校(高等課程)」、そして就職につながる「高等技術専門学校」などへの進学も可能です。

●高等学校

中学校の教育を基礎として、より高度な普通教育や専門教育を行う学校であり、略して「高校」と呼ばれます。義務教育ではありませんが、多くの中学生が卒業後の進路として選択している学校です。修業年限(学校に通う年数)は全日制の高等学校では3年ですが、定時制や通信制の高等学校はそれ以上(多くは4年)の場合もあります。高等学校にも多くの種別、学科がありますが、それについては後日の進路通信で紹介します。

●高等専門学校

高等専門学校は、実践的・創造的な技術者を養成することを目的とした学校であり、略して「高専」と呼ばれます。全国に57校あり、そのほとんどが国公立の学校ですが、私立の学校もあります(例：近畿大学工業高等専門学校など)。奈良県には国立の奈良工業高等専門学校があります。高等専門学校は技術者の養成が目的ですので、設置学科は工業に関する学科がほとんどです。修業年限は5年であり、卒業後の進路としては就職、もしくは専攻科(2年)への進学、または他大学への編入があります。



●専修学校・専門学校

専修学校とは、「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る(学校教育法より)」ことを目的に設置されている学校です。分かりやすく言えば、「より専門的・実践的な能力や技術を育てる学校」ということです。専修学校には、高等課程(中学校卒業者を対象)を持つ「高等専修学校」、専門課程(高等学校卒業者を対象)を持つ「専門学校」、一般課程(学歴、年齢を問わない)を持つ「専修学校」があります。みなさんがよく耳にする「〇〇専門学校」とは、専門課程を持つ専修学校のことを指します。また高等課程と専門課程を併せ持つ学校もあり、それらも「専門学校」と呼ばれています。したがって「専門学校」であっても、高等課程を持っていれば、中学校卒業者の募集も行っています。社会的には「高等専修学校」や「専門学校(高等課程)」の卒業生は、「高等学校」の卒業生と同等の扱いを受けます。

●高等技術専門学校

高等技術専門学校とは、都道府県が運営している公共職業能力開発施設のことで、学校を卒業して就職をめざす人や転職する人を対象に、必要な知識や技能を習得するための実技を中心とした職業訓練を行う学校です。奈良県にも、県立高等技術専門学校があり、訓練期間(学校に通う期間)は1年です。

就職(等)

『就職』とは、中学校を卒業して進学せずに、企業等で『働く』ことです。また、就職はしなくても、「家の手伝いをする」や「自分の目標(夢)のために、学校に行かずに必要なことをする」という進路もあるので、それらも含めて『就職(等)』としています。いずれにしても、進学して勉強をするのではなく、働いたり、自分に必要なことをしたりするなど、学校ではない「社会」に出るということの意味しています。企業への就職については、公共職業安定所(ハローワーク)と連絡を取り合っていますので、就職を考えている人がいれば、まずは担任の先生に相談してください。ただ単に「勉強嫌いやし、そっちの方が楽かな？」と安易に考えず、自分の将来を見据えた上で、『就職(等)』という進路が今の自分に合っているのかどうか、を考えて選択してほしいと思います。

【保護者の皆様へ】 6月の学力診断テストの中止 について

新型コロナウイルスの影響で、保護者の皆様におかれましても、今後の進路について多くのご心配があるかと存じます。しかしながら、例年6月に実施をしていました学力診断テストにつきましては、今年度このような状況下でテストを実施することは難しいと判断し、中止とさせていただきます。また例年2学期に行っている学力診断テストについては、現状では予定通り実施をしていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。